

学習活動案

担当者：大塚 明子

日時 校時 クラス	教科	単元名・題材名
6月3日 5校時 2年3組 29名	道徳	「一りん車」(みんなでつかうためには) ※児童は事前に話を読み、感想や問いを書きつけている。
本時のねらい	みんなで使う物を自分さえよければという使い方をすると、みんなが気持ちよく使えなくなることに気づき、みんなが使う物を大切に使うとする判断力を育てる。	
評価規準 【評価方法】	・みんなが使う物を大切にすることについて自分事として捉え、自分の考えを話したり書いたりしている。 【発言・道徳ノート】	
展開	学習活動	◇留意事項 ★見取りの視点
課題提示 ④ (6分)	1. めあてを確認する。 ○みんなのものやばしよをつかうときにたいせつなことを考えよう <導入の問い> みんなで使う物にはどんなものがある？	◇学習内容の方向付けをするため、めあてを確認し、声に出して読む。 ◇考えやすい問いについて話し合わせ、意見を言いやすい雰囲気をつくる。
集団解決 (感想 6分) (疑問 3分) (相談① 3分) (発表① 8分) (相談② 3分) (発表② 6分)	2. かんそうタイム ・ペア→全体の順で伝える。 3. 問いを知る ・児童から出た問いの中から話し合う問いを一つ決める。 4. そうだんタイム① ・近くの3,4人で問いについて意見を出し合う。 5. はっぴょうタイム① ・話し合ったことを発表する。 6. そうだんタイム② 教師からの問い「『一りん車おきば』のように、みんなの物にきまったおきばしよがあるのはなぜか。」 ・教師からの問いについて意見を出し合う。 7. はっぴょうタイム② ・話し合ったことを発表する。	◇めあてや話し合う問いにつながるのがある感想を確認する。 ◇児童の感想から、「みんなの物を自分勝手な気持ちで使うことは良くない」という考えを共通認識として確認する。 ◇各グループの相談に耳を傾け、必要な場合には話し合いに参加して意見交換を促す。 ◇発表活動が活発になるよう、「きょうかん」「つけたし」などのヒントカードを参考にするよう促す。 ★みんなが気持ちよく使うためにきまりがあり、みんなの気持ちを考えて使うことが大切であるという考えに気付いている。(発言・つぶやき)
振り返り ⑤ (10分)	7. 振り返りを書く。 ・「みんなのものやばしよをつかうとき、どうしていきたいか」を書く。 ・書いたことを発表する。	◇めあてを再度確認する。 ★学習を通して考えたこと、これからの生活に生かしたいことなどについて自分の言葉で書いている。(ノート)